

令和4年度デマンド交通実証実験 報告書

1. デマンド交通実証実験の目的
2. デマンド交通実証実験運行概要
3. デマンド交通実証実験運行結果概要
 - 3-1) 登録・利用状況
 - 3-2) 登録者アンケート結果
 - 3-3) ドライバー・予約センター聞き取り結果
 - 3-4) 交通事業者意見交換
4. まとめ・考察

1. デマンド交通実証実験の目的

目的：

あいあいバスは年間利用者数、運賃収入が年々減少し、収支改善が課題となっている。また、主な利用者が学生であり、一般利用者は時間が合わない・バス停が遠いなど理由から利用者が少なく、あいあいバスの利便性向上が必要となっている。そのため、デマンド交通の実証実験を行い、収支改善および利便性向上等について検証し、コミュニティバスの運行形態の見直しを進める。

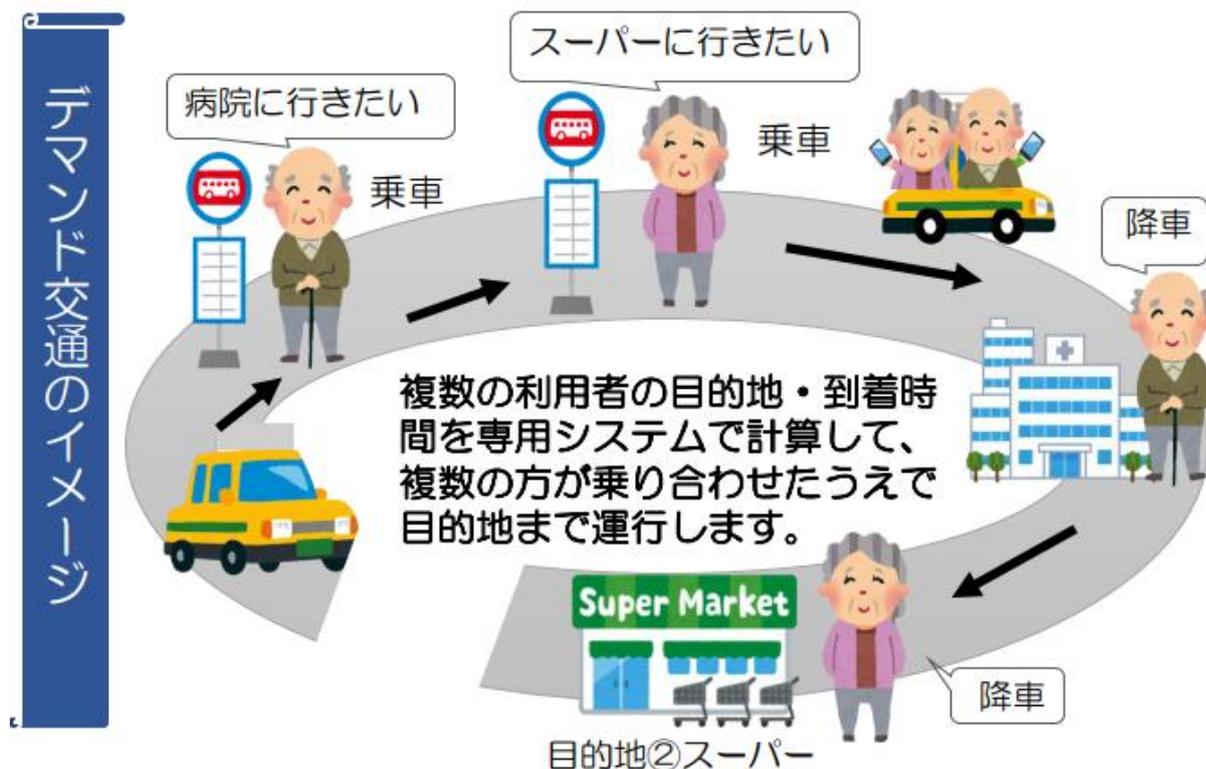
事業の位置付け：

小浜市地域公共交通計画（令和4年6月策定）

基本方針1 「みんなで支え育む公共交通ネットワークの実現」

事業1 「コミュニティバスの運行形態見直し」 および

事業4 「居住地を細かく回る新たな移動サービスの導入検討」



2. デマンド交通実証実験運行概要

●運行形態

予約があった停留所と停留所の間を運行

●運行期間

令和4年10月3日(月)～12月23日(金)の平日(土日祝は運休)
(57日間)

●運行日・運行時間

平日の午前9時から午後3時まで

●運行エリア

小浜市街地の一部、雲浜地区、西津地区、内外海地区

●対象者

雲浜地区、西津地区、内外海地区に住所を有するもの

●運行車両

市が委託するタクシー車両(定員4名/台) 午前は車両2台、午後は車両1台

●料金

無料

●予約方法

事前予約が必要(※初回の利用前に利用者登録が必要)

①電話予約・・・オペレーターに利用日時を伝え予約する方法

②WEBサイト予約・・・専用サイトから直接予約する方法

いずれも利用希望日の1週間前から1時間前までに予約。

※電話予約は平日のみ、WEBサイト予約は平日・土日祝ともに可

●停留所

あいあいバス泊線、田鳥線、宇久・西小川線の既存バス停(36か所) +
居住地区内の追加バス停(44か所) 合計80か所

●周知について

- ・広報おばま10月号でデマンド交通実証実験の冊子を対象3地区全戸配布
- ・市ホームページへの掲載
- ・区長会での事業説明
- ・ふれあいサロンリーダー研修会での事業説明
- ・ふれあいサロン等での利用方法説明(計13か所)、体験乗車会の実施

停留所画像(一部)



車両画像



ふれあいサロンでの説明会



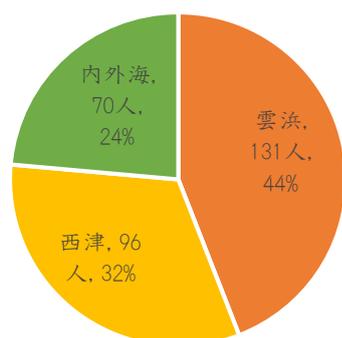
3. デマンド交通実証実験運行結果概要

3-1) 登録者数

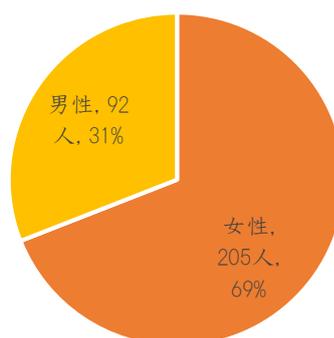
- 登録者数は297人（雲浜131人、西津96人、内外海70人）
- 年代別では80代の登録者数が112人で最も多い。また、70代以上の登録者数が全体の75%を占めた
- 3地区人口（8,953人）における登録者（297人）割合は、3.3%、
参考：デマンド交通導入済の近隣市町における登録者割合は7%～11%
- 70歳以上人口（2,236人）における登録者（222人）割合は、9.9%

年代	雲浜	西津	内外海	総計	割合
10代			2	2	1%
20代	2	1	1	4	1%
30代	4	2		6	2%
40代	5	4	1	10	3%
50代	3	8	5	16	5%
60代	17	12	8	37	12%
～60代小計	31	27	17	75	25%
70代	37	27	23	87	29%
80代	47	37	28	112	38%
90代	16	5	2	23	8%
70代～小計	100	69	53	222	75%
総計	131	96	70	297	人
登録者数(297人)における割合	44%	32%	24%	—	—
地区人口(人)	4,618	2,903	1,432	8,953	—
地区人口における登録者割合	2.8%	3.3%	4.9%	3.3%	—
登録者の内、70歳以上(人)	100	69	53	222	—
70歳以上地区人口(人)	1,072	726	438	2,236	—
70歳以上人口における登録者割合	9.3%	9.5%	12.1%	9.9%	—

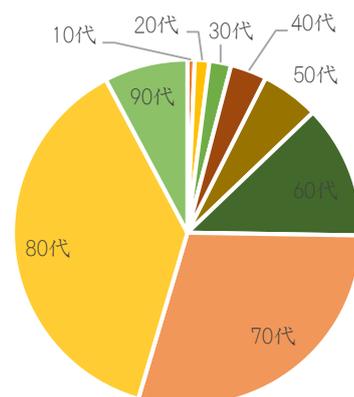
登録者地域比



登録者男女比



登録者年代比

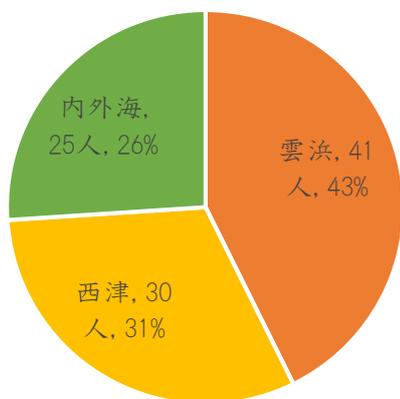


3-2) 実利用者数

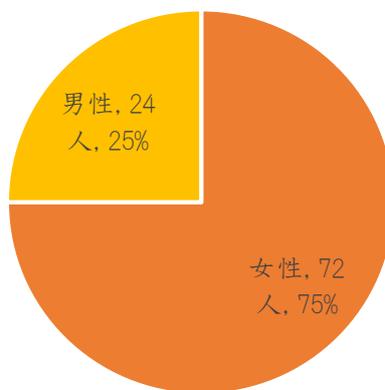
- ・ 登録者（297人）のうち、実際に利用した人は96人で登録者の32%。
- ・ 年代ごとの実利用者の割合は、登録者と同様で80代の利用が最も多かった。また、70代以上の実利用者が77%を占めた

年代	雲浜	西津	内外海	総計	割合
10代	—	—	—	—	—
20代	2人	—	—	2人	2%
30代	2人	1人	—	3人	3%
40代	1人	1人	—	2人	2%
50代	—	3人	2人	5人	5%
60代	4人	3人	3人	10人	10%
70代	16人	3人	8人	27人	28%
80代	14人	17人	11人	42人	44%
90代	2人	2人	1人	5人	5%
総計	41人	30人	25人	96人	—
割合	43%	31%	26%	—	—

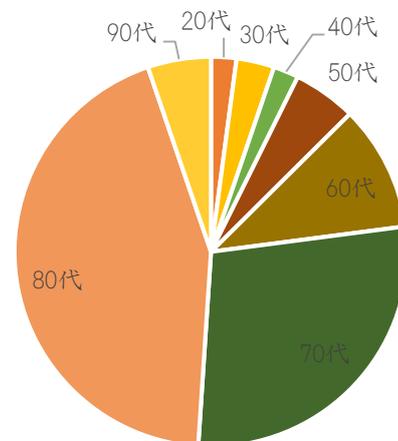
実利用者地域比



実利用者男女比



実利用者年代比



資料 (R5.3.24 小浜市地域公共交通会議資料)

登録者・実利用者の推移

- 登録者は、実証実験開始前の9月、開始直後の10月の登録が多い。広報誌への折り込みやふれあいサロン訪問による効果と考えられる。

		9月	10月	11月	12月
登録者	新規	138人	142人	15人	2人
	累計	138人	280人	295人	297人
うち、実利用者数	新規	—	53人	30人	13人
	累計	—	53人	83人	96人

乗車回数ごとの人数（地区別）

- 実利用者96人の乗車回数を示した表である。96人のうち、乗車回数が2回以下の利用者が45人で47%を占め、3か月間の実証実験で11回以上利用するユーザーが18人で18%を占めた。

	雲浜	西津	内外海	合計	割合
1回	11	8	7	26	27%
2回	5	8	6	19	20%
3回	5	4	3	12	13%
4回		2	3	5	5%
5回	3	1		4	4%
6～10回	8	1	3	12	13%
11回～	5	4	2	11	11%
21回～	1	2	1	4	4%
31回～	3	0	0	3	3%
合計	41	30	25	96	100%

3-3) 乗車実績

用語説明

<乗車人数>

運行された予約の乗車人数。1件の予約に対し、2人乗車する設定で予約を確定された場合、運行予約数：1、乗車人数：2 となる。

<運行予約数>

運行された予約の数（キャンセルを除く）。

<乗合率>

1件の運行に対しての平均乗車人数。1件の運行に対して乗り合わせ人数が多いほど高くなる。（乗車人数÷運行予約件数）

乗車人数と運行予約数

- ・ 運行期間の運行予約数は630件、乗車人数は750人であった。
- ・ 運行期間の1日平均乗車人数は13.1人/日であった。月別では10月の1日平均乗車人数が13.9人と最も多く、11月は12.8人、12月は12.7人であった。
- ・ 運行期間の平均乗合率は1.19人であり、乗合となることが少なく、一人での乗車が多かった。
- ・ 運行予約数630件の内、ヘビーユーザー（21回以上利用）となった7人の合計運行予約件数は233件で、全体の運行予約数の37%を占めた。

	10月	11月	12月	合計	平均
乗車人数（人）	278	256	216	750	250
実利用者数（人）	53	60	57	—	57
運行予約数（件）	220	222	188	630	—
運行日数（日）	20	20	17	57	—
1日平均乗車人数（人）	13.9	12.8	12.7	—	13.1
乗合率（人）	1.26	1.15	1.15	—	1.19

1 予約の平均乗車時間（分：秒）

	1号車	2号車	全体
10月	11:10	14:40	12:39
11月	12:44	16:24	14:28
12月	14:01	11:16	12:39

資料 (R5.3.24 小浜市地域公共交通会議資料)

車両別の予約件数と乗車人数 (最大・平均)

- ・ 午前9時～午後3時まで終日稼働する1号車の1日最大運行予約数17件に対し、午前9時～午後1時までの稼働となる2号車の1日最大運行予約数は5件であった。
- ・ 1号車の平均運行予約数は9.1件/日に対して、2号車は2.0件/日と少ない。1号車に予約を集中して運行しており、2号車の運行稼働率は低かった。

	9時～15時稼働	9時～13時稼働
	1号車	2号車
最大運行予約数/日	17.0	5.0
平均運行予約数/日	9.1	2.0
最大乗車人数/日	20.0	9.0
平均乗車人数/日	10.7	2.5

予約成立率

用語説明

<検索数> 予約の検索をされた件数。1件の予約の際に条件を若干変更し複数回検索されたとみられるものは1件としている。

<確定数> 予約が確定された予約の件数 (キャンセルを含む)

<成立率> 予約が確定された割合。確定数 ÷ 検索数

- ・ 運行期間の予約問い合わせに対して、88%の割合で予約が成立した。今回の実証実験の需要に対して、2台の車両台数で概ね対応できたと考えられる。

	検索数①	確定数②	確定に至らなかった検索数 (①-②)	成立率 (②÷①)
10月	319	276	43	87%
11月	316	281	35	89%
12月	249	220	29	88%
合計	884	777	107	88%

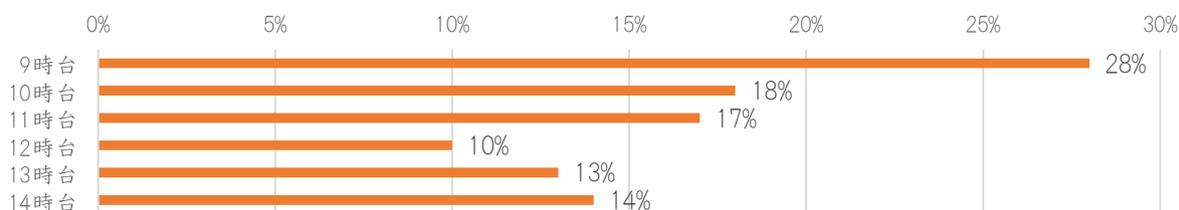
(確定に至らなかった検索数107件の内訳：雲浜47、西津31、内外海29)

時間帯ごとの運行予約数

- 全運行予約数(630件)のうち、9時台が28%、10時台が18%と午前の早い時間帯の需要が高かった。

	10月	11月	12月	合計	割合
9時台	59	62	54	175	28%
10時台	40	44	31	115	18%
11時台	35	30	40	105	17%
12時台	24	20	20	64	10%
13時台	26	33	23	82	13%
14時台	36	33	20	89	14%
合計	220	222	188	630	—
割合	35%	35%	30%	—	—

時間帯別予約件数

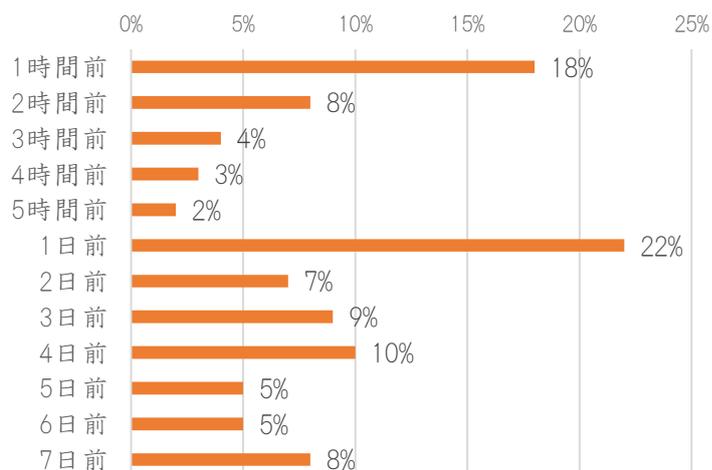


予約を行うタイミング

- 乗車のどれくらい前に予約を取っているかを集計したものである。傾向としては、乗車する1時間前に予約をする(18%)か、前日に予約する(22%)場合が多かった。

事前予約状況	件数	割合
1時間前	112	18%
2時間前	48	8%
3時間前	24	4%
4時間前	16	3%
5時間前	14	2%
1日前	137	22%
2日前	42	7%
3日前	56	9%
4日前	64	10%
5日前	33	5%
6日前	32	5%
7日前	52	8%
合計	630	100%

事前予約状況



希望時間と予約時間の差

- ・ 予約を取る際に伝える希望時間に対し、確定した予約時間との差を集計したものである。希望時間との差20分以内が89%であったことから、概ね希望時間通りに乗車できていると考えられる。

	件数	割合
0分	383	61%
±5分以内	68	11%
±10分以内	62	10%
±20分以内	47	7%
±30分以内	35	6%
±40分以内	16	3%
±50分以内	6	1%
±60分以内	8	1%
±60分以上	5	1%
	630	—

} 89%

- ・ 先述の「予約成立率」と合わせて考えると、希望の20分以内かつ予約が成立した方は、78%（予約成立率88%×希望との差20分以内89%）となる。この数値がデマンド交通による利便性向上のためのサービスレベルを示すひとつの判断材料と考えられる。

端末別予約数

- ・ 8割を超える予約が電話予約となった。主な利用者が70代以上であったことから、WEBサイト予約が少なかったと考えられる。

	10月	11月	12月	合計	割合
電話予約	175	191	147	513	81%
WEBサイト予約	45	31	41	117	19%
合計	220	222	188	630	

乗降場利用状況

基本情報

登録乗降場数（箇所）	80
内、利用された乗降場（箇所）	60

- 乗降場所の特徴として、「水取」「東山手団地前」「ふれあい山手東会館」等の雲浜地区の乗降場が上位になっている。今回の実証実験で、実利用者の多かった雲浜地区の利用者が、自宅最寄りの乗降場から乗車したことが分かる。
- 降車場所は、「小浜病院前」「小浜駅」「市役所」が上位となり、通院や公共施設へ行く際に利用されたことが分かる。
- 乗車、降車ともに、デマンド交通実証実験のために、居住地近くに追加した乗降場が多く利用されており、利便性向上につながったと考えられる。

乗車利用（上位10か所）

	乗車場所	区分	利用数
1	水取	既存	63
2	東山手団地前	追加	51
3	小浜病院前	既存	47
4	ショッピングセンター前	追加	46
5	ふれあい山手東会館	追加	31
6	雲浜公民館前	追加	29
7	仏谷中央	追加	27
8	小浜駅	既存	24
9	バロー駐車場	追加	21
10	市役所前	既存	18

降車利用（上位10か所）

	降車場所	区分	利用数
1	小浜病院前	既存	120
2	小浜駅	既存	71
3	市役所前	既存	37
4	東山手団地前	追加	36
5	水取	既存	31
6	ふれあいセンター前	追加	30
7	ショッピングセンター前	追加	30
8	ふれあい山手東会館	追加	24
9	バロー駐車場	追加	18
10	ループ	追加	18

3-4) 利用者アンケート結果

●アンケートの目的

デマンド交通の利用実態(利用状況、目的等)、運行による利用者の外出行動の変化、運行の評価と改善要望を把握し、分析する。

●調査の概要

対象者	小浜市デマンド交通実証実験の利用登録者(297人)
調査方法	登録者宛てに調査票と返信用封筒を郵送し、郵送により回収する
調査時期	令和4年12月～令和5年1月

●調査項目

属性	居住地、年代、世帯状況、運転免許の有無、普段の移動手段
利用実態	利用頻度、利用目的、利用理由、外出回数の変化
運行内容の評価	運行時間、停留所の場所、予約方法、ドライバー・オペレーターの対応
今後の運行	本格運行(有償化)した場合の利用意向
自由意見	具体的な改善要望など

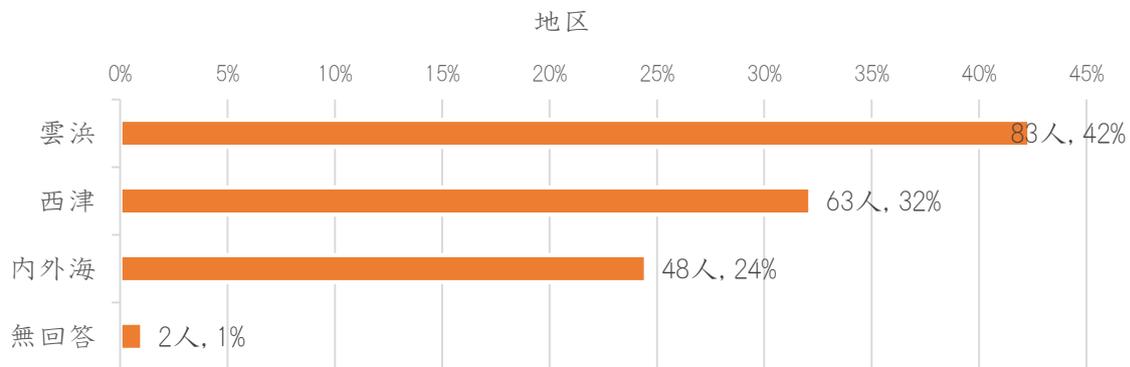
●アンケート回答数

196人(回答率 66%)

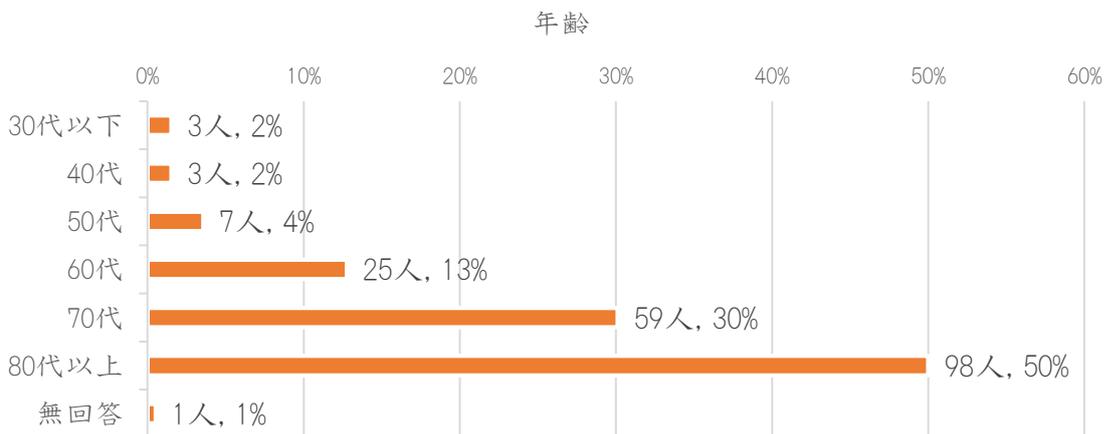
回答者

このアンケートの回答者の状況は以下のとおりです。

(問1-1: 地区別)

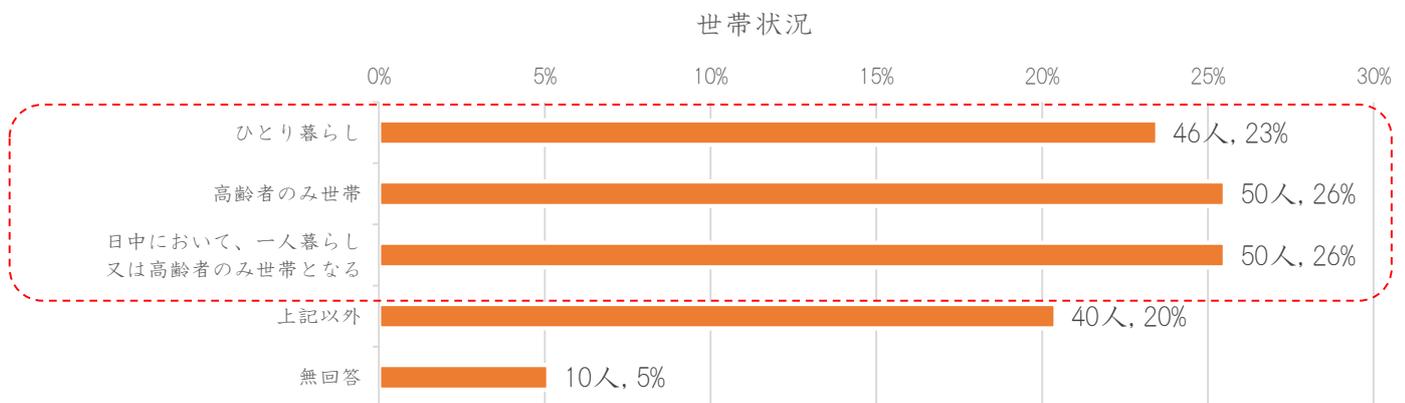


(問1-2: 年齢)



(問1-3: 世帯状況)

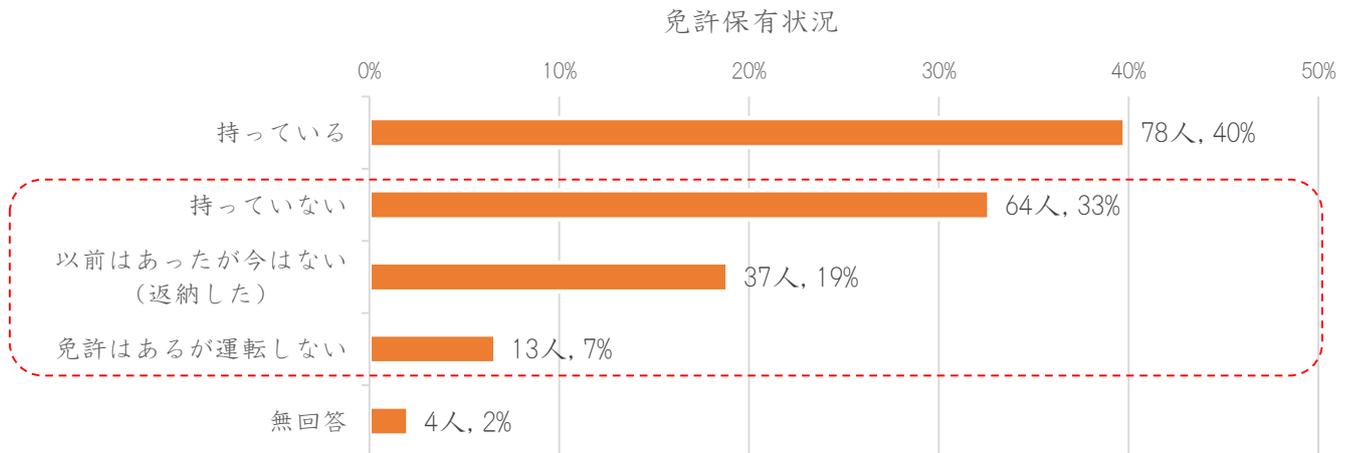
- ひとり暮らし、高齢者のみ世帯、日中においてひとり暮らし又は高齢者のみ世帯となる方が75%を占めた。



資料 (R5.3.24 小浜市地域公共交通会議資料)

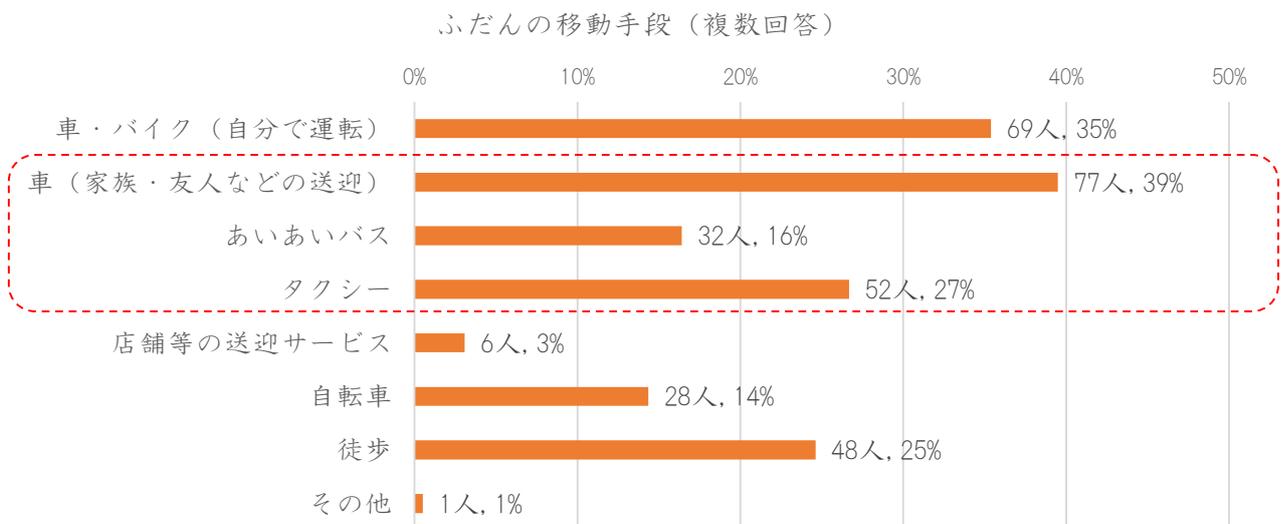
(問1-4: 運転免許保有状況)

- ・ 運転免許を持たない人、運転しない人を合わせると約60%。



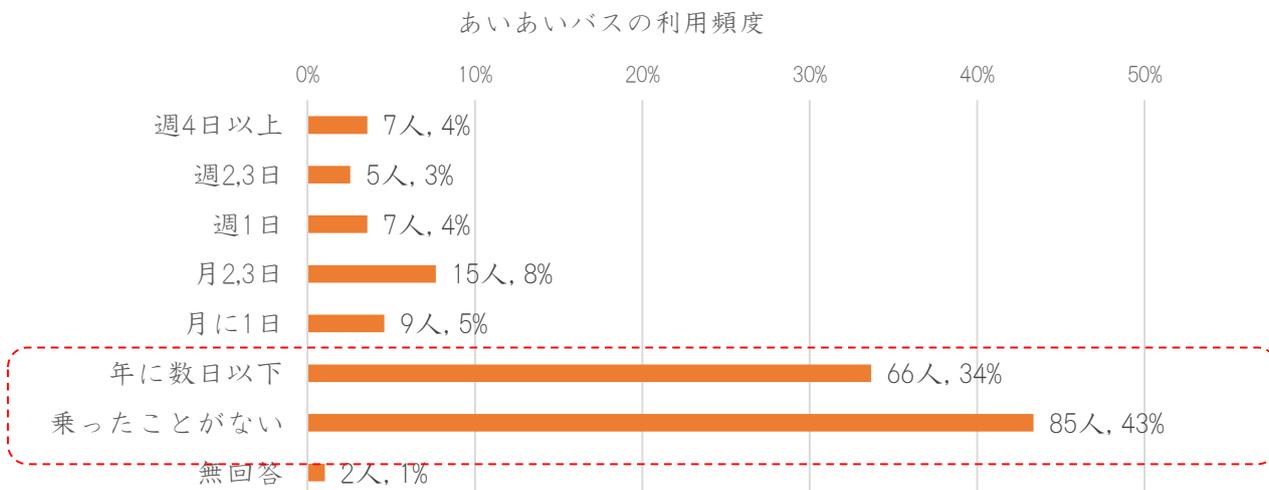
(問1-5: ふだんの移動手段: 複数回答)

- ・ 自分で運転する人が一定数いるが、家族や友人等に送迎してもらう人、バス・タクシーなど公共交通を利用する人が多い。



(問1-6: あいあいバスの利用頻度)

- ・ あいあいバスを年に数日以下または乗ったことがない人が77%を占めた。デマンド交通の登録者は、あいあいバスを日常的に利用していない人が多くを占めたことが分かる。



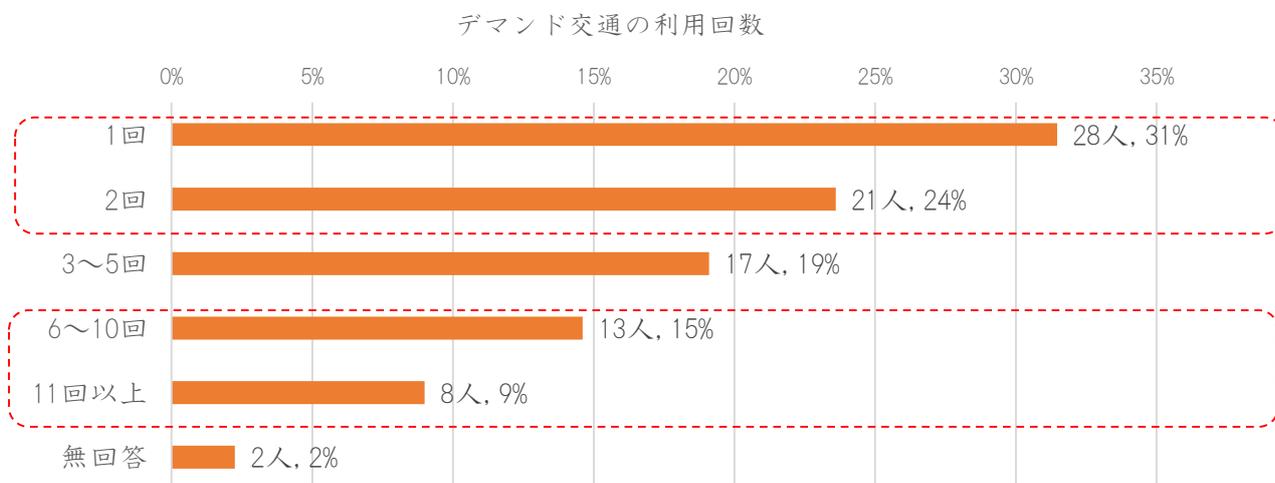
(問1-7: 実証実験期間中にデマンド交通を利用したか)

- ・ 回答者の45%がデマンド交通を利用した。

	回答数	割合
利用した	89	45%
利用していない	107	55%
総計	196	—

(問2-1: デマンド交通利用回数: 対象は問1-7で「利用した」の回答者)

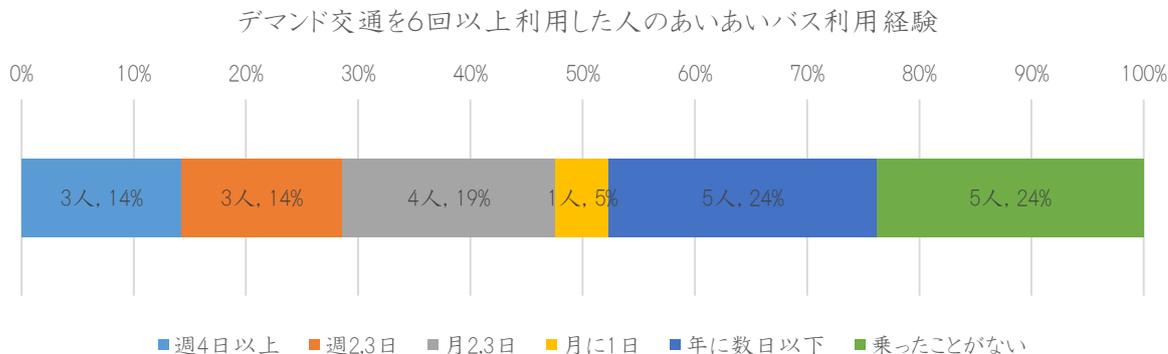
- ・ 利用した人のうち、1回または2回のみの利用となった人が49人(55%)を占める。
- ・ 一方、6回以上利用するリピーターが23人(24%)いた。



資料 (R5.3.24 小浜市地域公共交通会議資料)

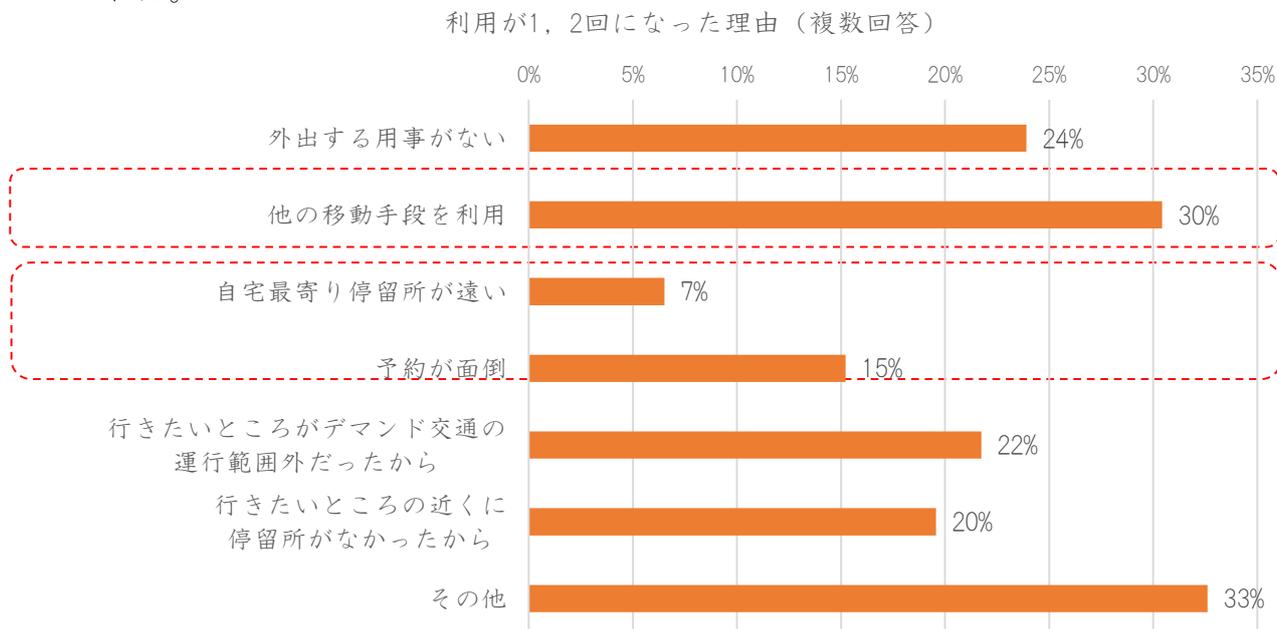
(クロス集計：デマンド交通を6回以上利用した人のあいあいバス利用経験)

- ・ デマンド交通を6回以上利用した人は、元々あいあいバスの利用経験がある人（月1回以上）が52%、あいあいバス利用経験がない人（年に数日以下、乗ったことがない）が48%であった。



(問2-2：利用が1回または2回のみになった理由：複数回答)

- ・ 「他の移動手段の利用」や「外出する用事がない」「行先がデマンド交通の範囲外だったから」という理由が多かった。
- ・ 「自宅最寄り停留所が遠い」や「予約が面倒」の回答は比較的少なかった。
- ・ その他の理由では、「予約がいっぱいで断られた」、「土日の運行がなく時間が合わなかった」「平日の朝夜の運行がなく時間が合わなかった」等の理由が挙げられた。



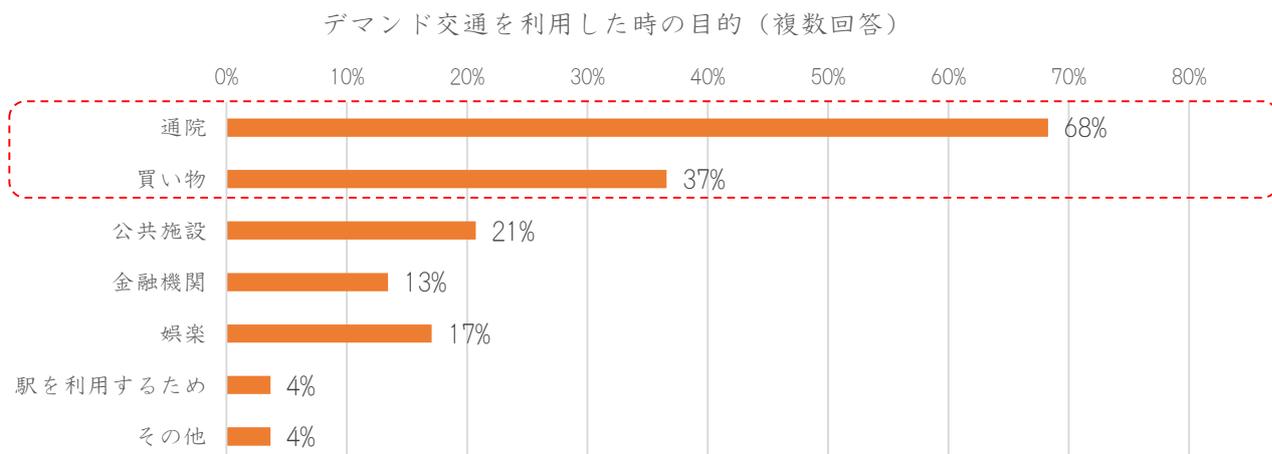
その他の回答

「利用時間の範囲が短いから」、「予約が1時間前だと利用しづらいから」、「雪が降った時に利用しようと思ったけど雪が降っていなかったから」、「一人で利用するのは悪いと思ったから」、「友人と同じところへ行きたかったから登録したが一人の外出なら利用しない」

資料 (R5.3.24 小浜市地域公共交通会議資料)

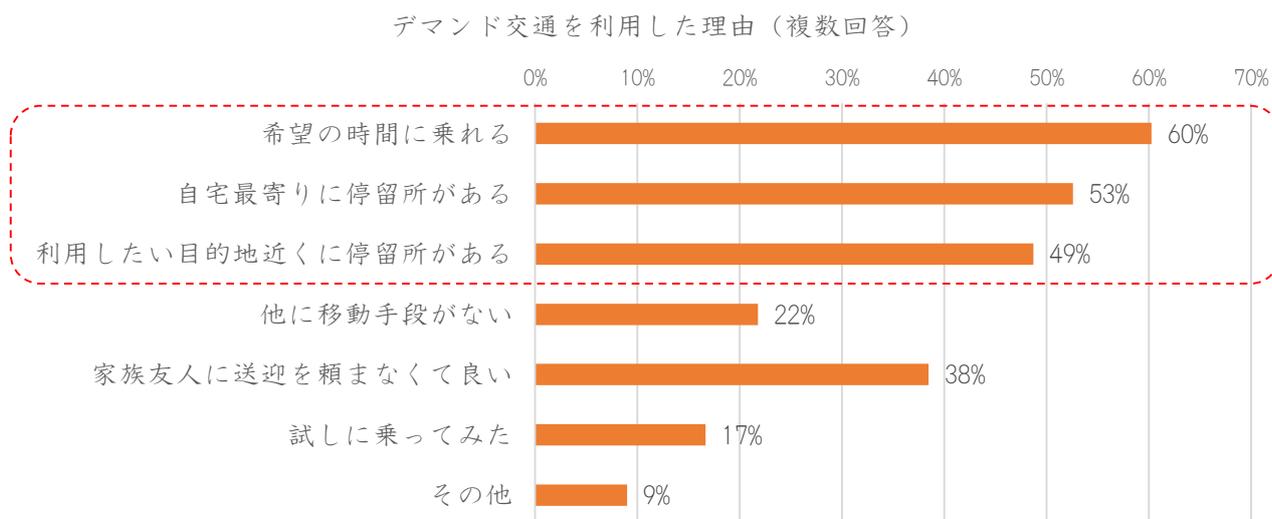
(問2-3: デマンド交通を利用した目的: 複数回答)

- 「通院」が一番多く、続いて「買い物」という結果となった。



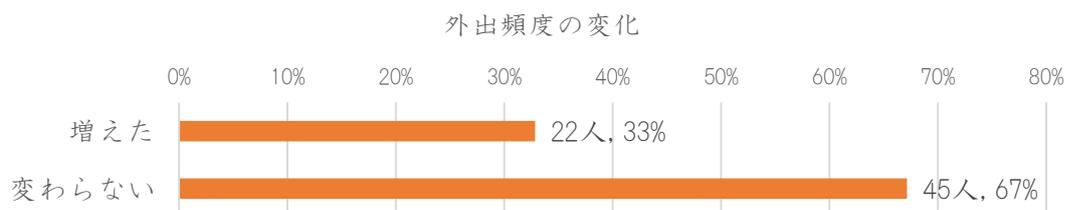
(問2-4: デマンド交通を利用した理由: 複数回答)

- 「希望の時間に乗れる」という通常のあいあいバスのダイヤ・待ち時間と比べて乗りやすいことや、「自宅最寄りに停留所がある」「利用したい目的地近くに停留所がある」等、乗降場所が利用しやすかった等の理由が多くなっている。



(問2-5: デマンド交通を利用したことによる外出頻度の変化)

- 外出頻度は、「変わらない」が45人(67%)で、「増えた」は22人(33%)であった。

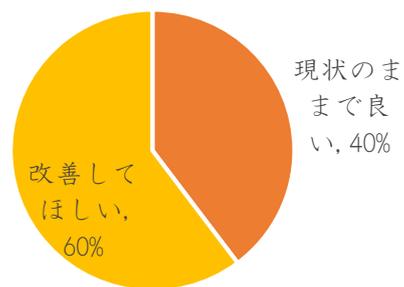


運行の評価

(問3-1: 運行日時: 平日9時~15時)

- ・ 運行日時は「改善してほしい」が60%を占めた。
- ・ 改善希望内容は、運行時間の拡大(朝・夕方の運行)や運行曜日の拡大(土日運行)が挙げられた。

運行日時について



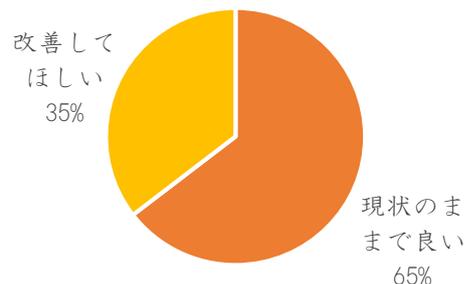
改善希望

開始時間	朝8時か8時半くらいには車が来てほしい 朝8時または8時半から運行してほしい。病院の受付時間に合わせるため
終了時間	17時まで運行してほしい。土曜日もあるとありがたい。あいあいバスは土曜日が少ないから。 16時まで運行してほしい 18時くらいまで運行してほしい 小浜駅から16時が最終だと良い 夜の電車等での帰宅時に使いたいので21時まで運行があると良い
全日	平日8時~16時に運行していただくと利用回数が増えます。若江線の始発が8:55小浜駅発なので、このバスに乗るために8時から運行していただきたい 運行日に土日を入れてほしい。運行時間は平日8時~17時半、土日9時~16時 7時~17時だと利用が増える 土曜日でも利用できるとイベントなどにも参加しやすい。15時を16時まで運行してほしい 朝はもう少し早い時間、午後はもう少し遅い時間、8時~17時くらいまで運行してほしい 夏と冬の場合を考えてほしい 9時~12時、15時~18時に運行されていたら良いと思いました

(問3-2: 停留所の場所・待合環境)

- ・ 停留所の場所、待合環境は「現状のままで良い」が65%
- ・ 改善希望内容は、バス停の追加（地区内や店舗等）や待合環境（ベンチ、屋根等の設置）が挙げられた。

停留所の場所や待合環境について



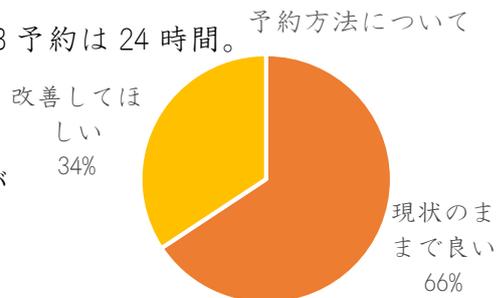
改善希望内容

場 所	アヤハディオに1か所必要
	地区内に停留所を増やしてほしい。もう少し自分の住む場所に近いと良い
	温水プール行きも欲しい
	東小浜駅近くに停留所がほしい（小浜駅～東小浜駅の電車時刻に合わない）
	水取の停留所をゲンキーと本馬医院を増やしてほしい
	大学に通うために使いたい
	市立図書館近くに停留所を追加してほしい（本を持って持ち歩くのは重い）。海岸通り沿いは雨風共に強く、夏・冬立って待つのは辛い。
	もう少しお店の近くにしてほしい
環 境	雨天の場合待つ間に濡れる。停留所に椅子、ベンチがほしい
	バスの停留所の場合屋根がないので、近くの店舗等にしてほしい
	小さいベンチがほしい。腰が悪くて杖を持っているので待ち時間に座りたい。
	表示を道路際の目につきやすいところに
	1回しか乗っていないのでわかりません
	停留所に立札がありますが、時間を書いてほしいです
	あいあいバスと同じバス停だと間違われる

資料 (R5.3.24 小浜市地域公共交通会議資料)

(問3-3: 予約方法: 電話予約は平日9時~17時、WEB予約は24時間。予約方法についていずれも1時間前の締め切り)

- ・ 予約方法は「現状のままで良い」が66%
- ・ 改善希望内容は、予約1時間前締切についての改善が挙げられた。

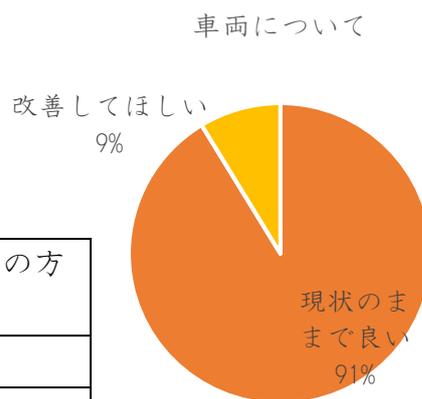


改善希望内容

30分前位に予約できると良い
病院帰りに1時間待たなくてはならないのが不便なので10分前くらいに予約できると良い
利用の時間がはっきりしない時があるので、いつでも予約できたら嬉しい
病院の帰りの時間はわからないので30分前くらいに予約できると良い
行きは1時間前でも良いのですが、帰りは1時間前というのはきつい
利用の一日か二日前にお願いしても、予約がいっぱいで乗れないと言われました。もう少し車が大きければとも思います。
1週間前だと確実に予約できたが、前日・当日だと予約できなかった。確実に予約できる車があると有難い。
土日に来週の予約が出来ないことや、土日に月曜日のキャンセルが出来ないのは月曜日の9時のキャンセルをしたいときに困る

(問3-4: 車両の乗り降りしやすさ・乗り心地等)

- ・ 車両については、90%を超える人が「現状のままで良い」と回答。



改善希望内容

7人乗りでも良いが、足の不自由な方などはタクシー車両の方が良い
4人しか乗れないと困るのでもう少し大きい車の方が良い
ステップが高くて乗りにくかった
助手席も利用の場合、後部席と同じような上からの持ち手があれば楽かなと思った

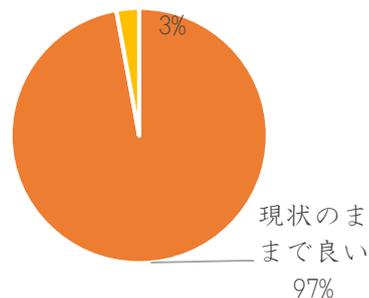
(問3-5: ドライバーの応対)

- 97%の人がドライバー応対は「現状のままで良い」と回答

意見

コロナ禍でやむを得ないかも知れませんが、一言欲しいです。
もっと乗車する人に身になって対応をしてほしい。

ドライバーについて
改善してほしい



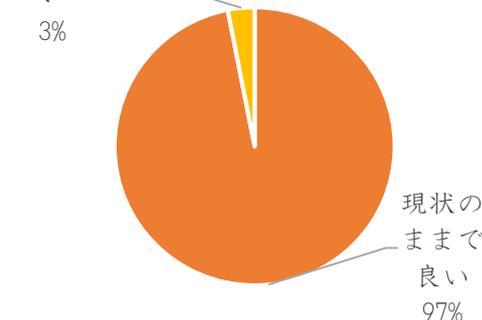
(問3-6: 予約センターの応対)

- 97%の人が予約センター応対は「現状のままで良い」と回答

意見

応対はとても丁寧で親切だった。電話が込み合っ
てとても大変そうに感じた。最も混む時間帯の一
部を定時運行便にしては

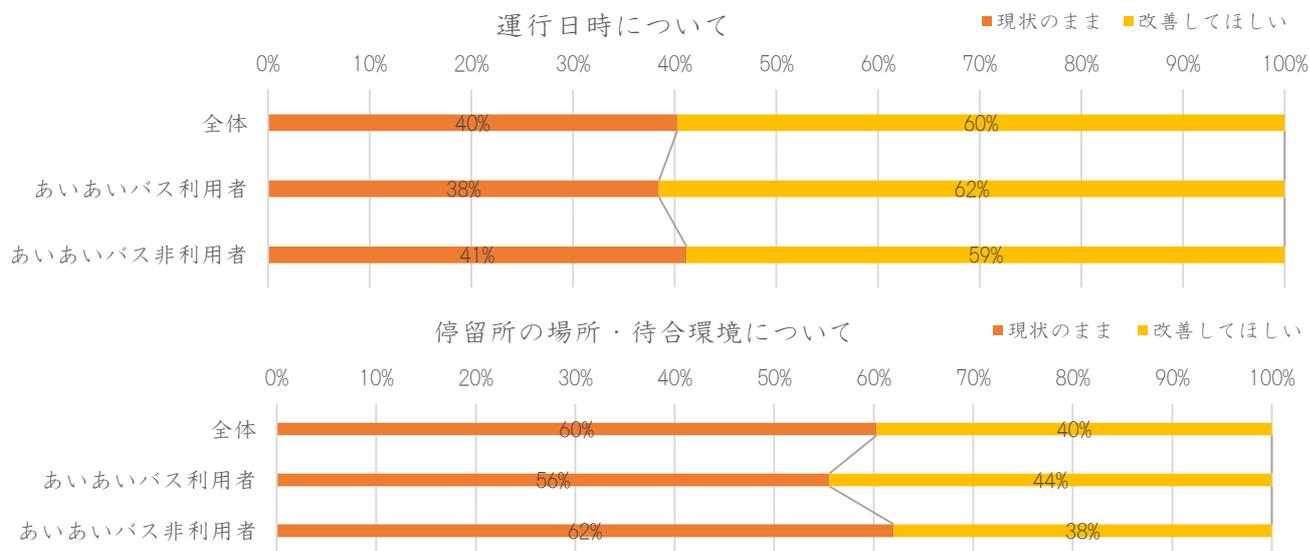
予約センターについて
改善してほしい

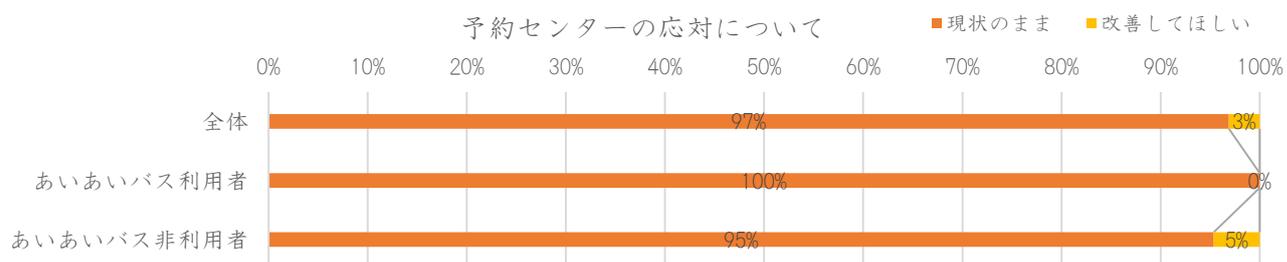
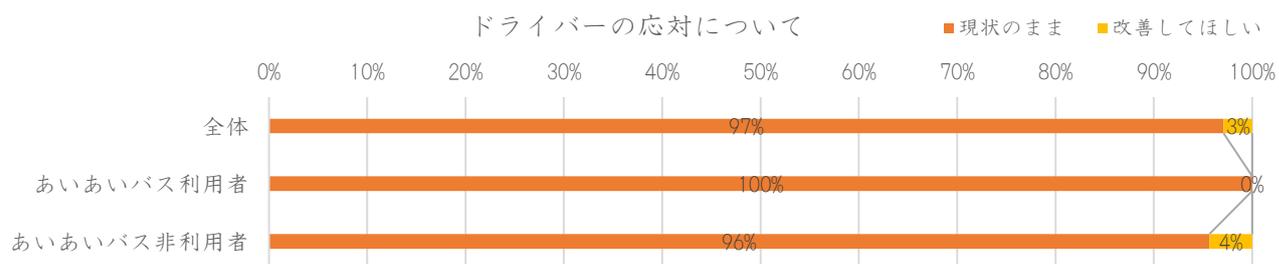
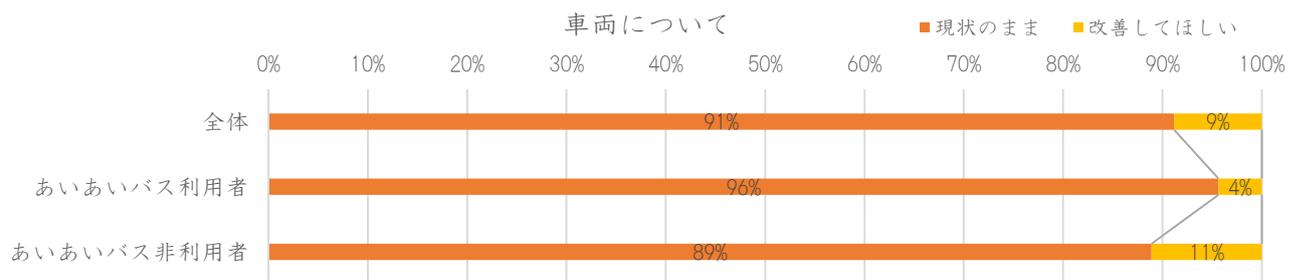
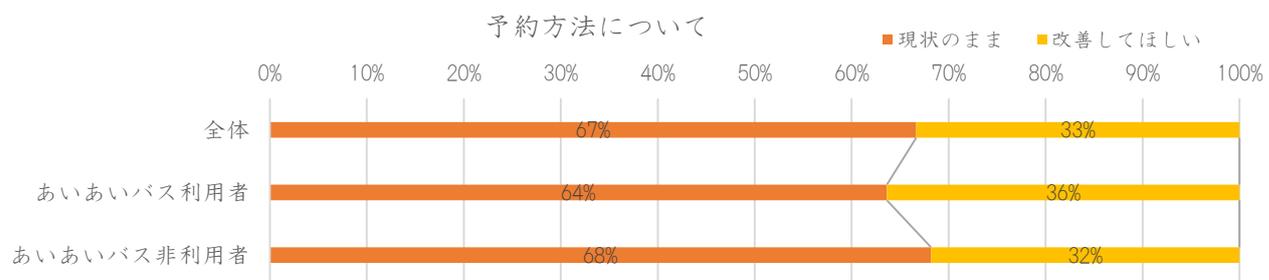


<運行評価のクロス集計>

問3-1~3-6について、あいあいバスを日常的に利用者している人(月1回以上利用)とあいあいバスを日常的に利用していない人(年数回以下・乗ったことがない)の運行評価は以下のとおり。

- 各設問とも、あいあいバスを日常的に利用する人と利用しない人に大きな差はない。





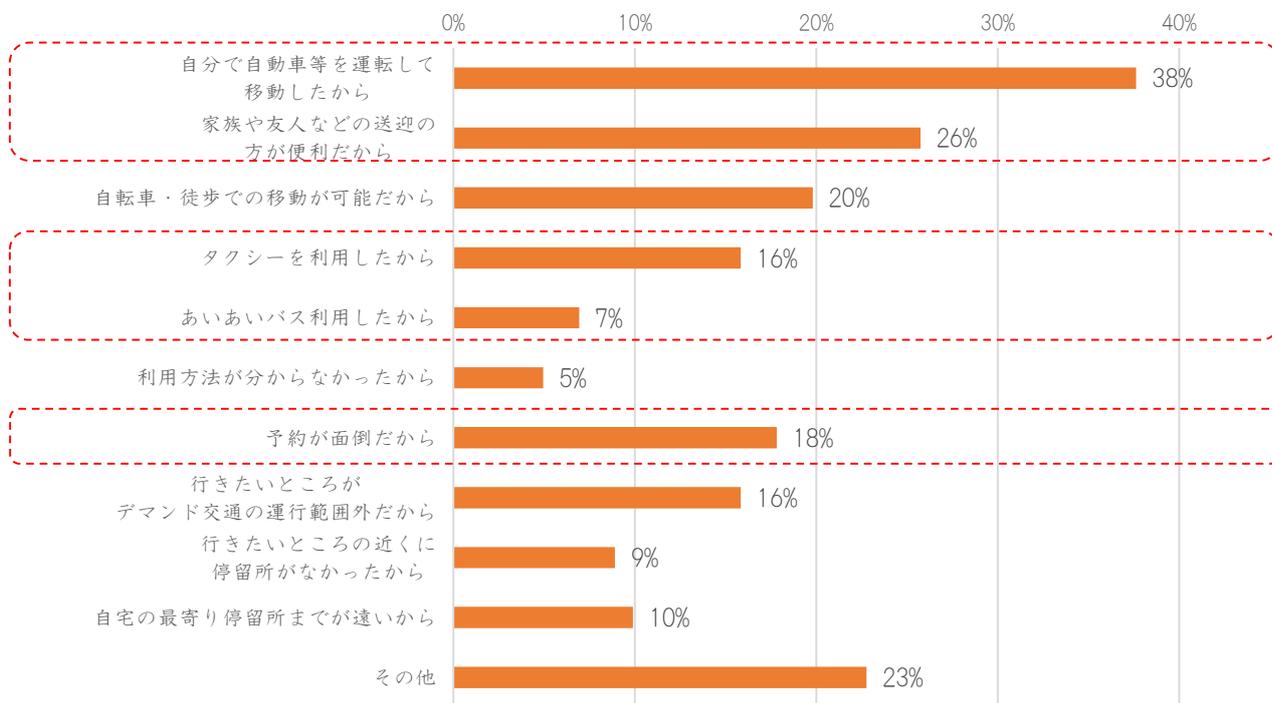
資料 (R5.3.24 小浜市地域公共交通会議資料)

(問4-1: デマンド交通を一度も利用しなかった人の理由: 複数回答)

アンケート回答者196人のうち、107人がデマンド交通を利用しなかったと回答。その回答者を対象に、利用しなかった理由を聞いた。

- ・ 自分で運転もしくは家族・友人等による送迎、タクシー、あいあいバスなど他の交通手段を利用したからという理由が多かった。
- ・ 「予約が面倒だから」との回答も一定数あり、予約制のハードルも見受けられる。
- ・ その他の理由は、運行時間が合わないこと(平日のみ運行、夜間の運行がないため利用しなかった)や予約が取れるかの不安(特に帰りの便)等が挙げられた。

デマンド交通を利用しなかった理由(複数回答)



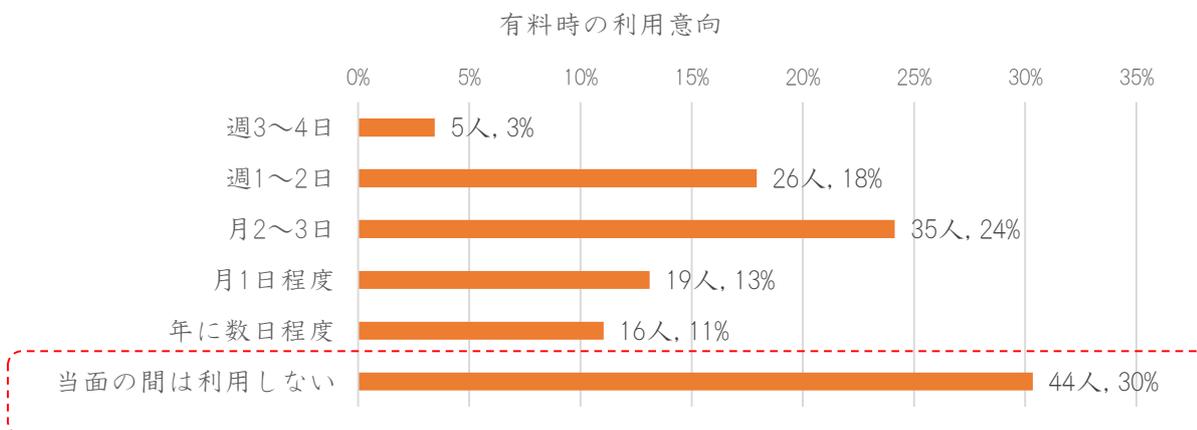
その他の内容

運行時間	朝早い時間に運行していないから
	平日のみの運行で利用できないため不便であった
	夜・土日の運行がなく時間が合わなかった
	時間が合わないから。朝7時半頃に乗りたいし、15時半くらいで帰りたい
予約	帰宅の時間の予定がつかないと予約できなくて困るから
	いつ来てもらえるか不明だから
	通院で利用しようと思ったが、乗合で到着時間に余裕が必要と思ったので躊躇した。
	予約がとれなかった
	便利なところに住んでいて車を利用したくても用事が足せる
	利用しようと思ったが、目的地まで時間がかかり、間に合わないから利用しなかった

その他	配偶者が一緒に申し込んだが利用する機会がなかった
	足腰が悪いので、立っていることが無理だから
	県外へ出るのに手荷物を乗せるのが申し訳ないと思ったから
	10月下旬より治療が始まり、体の調整が難しくなったため
	外出することがなかった
	コロナ禍で外出を控えたから
	コロナ禍の中、知らない人と同乗できない

(問5-1: 有料時の利用意向)

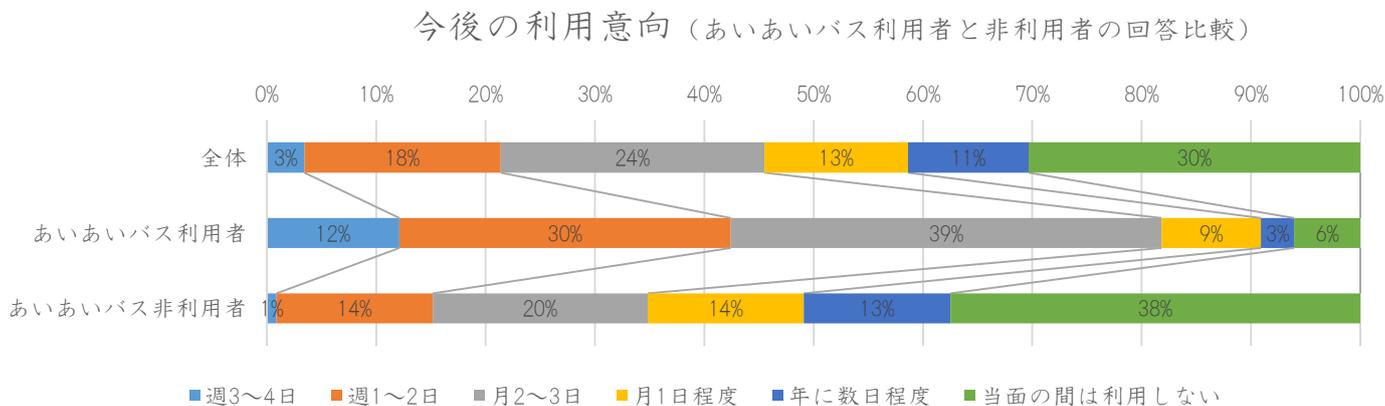
- ・ 「当面の間は利用しない」が44人(30%)で最も多く、次いで「月2~3日利用」35人(24%)、「週1~2日利用」26人(18%)と続いた。
- ・ 「当面の間は利用しない」理由としては、「車を運転できるから」「家族に送迎してもらえるから」という点が挙げられた。



<有料時の利用意向のクロス集計>

問5-1について、あいあいバスを日常的に利用者している人(月1回以上利用)とあいあいバスを日常的に利用していない人(年数回以下・乗ったことがない)の利用意向は以下のとおり。

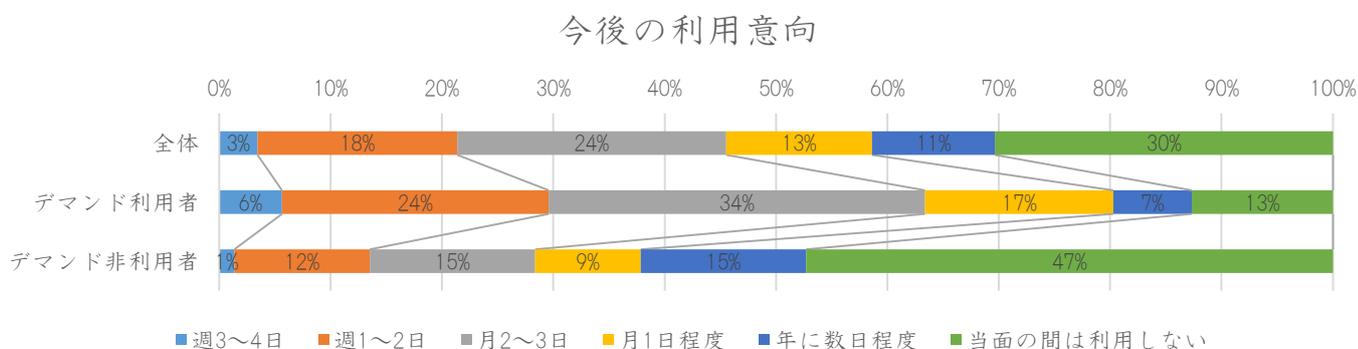
- ・ あいあいバスを日常的に利用する人の利用意向は、月1日以上利用すると回答した人が9割を占めた。



＜有料時の利用意向のクロス集計＞

問5-1について、デマンド交通を実際に利用した人としていない人の利用意向は以下のとおり。

- ・ デマンド交通を利用した人は、月1日以上利用すると回答した人が8割を占める



(問5-2：有料時の1回あたりの希望運賃額)

- ・ 「500円」が29人(22%)と最も多く、次いで「200円」が28人(21%)。

有料時の1回あたりの希望運賃額	回答数	割合
50円	1	1%
100円	23	17%
150円	5	4%
200円	28	21%
230円	2	2%
250円	1	1%
300円	21	16%
350円	1	1%
400円	6	5%
500円	29	22%
550円	1	1%
700円	2	2%
750円	1	1%
950円	1	1%
1000円	9	7%
1500円	1	1%
2000円	1	1%
回答数合計	133	

資料 (R5.3.24 小浜市地域公共交通会議資料)

(問5-2: 有料時の1か月あたりの希望運賃額)

- ・ 「1,000円」が17人(22%)と最も多く、次いで「3,000円」15人(20%)と続いた。1000円~3000円間の回答数が7割を占めた。

有料時の1か月あたりの運賃額	回答数	割合
500円	5	7%
750円	1	1%
1000円	17	22%
1200円	2	3%
1500円	1	1%
1600円	1	1%
1800円	1	1%
2000円	14	18%
2500円	2	3%
3000円	15	20%
3500円	1	1%
4000円	4	5%
5000円	10	13%
10000円	2	3%
回答者数合計	76	

(デマンド交通やあいあいバスに関する自由意見)

<運行日時に関すること>

利用したい日が土日のため利用できませんでした。今は自分の車で移動ができますが、これから数年でそれが出来なくなったら利用したいのでこれからも運行してほしいです。
朝7時半くらいから乗りたい。午後は3時半くらいに乗りたい
土日の運行もしてほしい
朝に病院に行くのに時間にもっと余裕がないと気が落ち着かないので、時間を決めてください。
土日に運行してもらえたらもっと利用しやすい。30分前に予約できると良い。停留所ではなく利用者が行きたいところで乗り降りできるともっと利用できる
午後17時~18時までの予約ができれば利用しやすいと思います
土日にも運行してほしい。月2回程友達と外出したいと思っても、土日の運行がないためいけなかった
運行時間を朝夕長くしてほしい

高齢者の通院や買物を主に考えておられるのであれば、現状の運行時間帯が良いと思います。共働きのお家の学生や駅利用者には、もう少し早い時間帯からで日中は運行がなく、夕方にも運行時間帯があれば良いと思います。

土日どちらかを増やしてほしい

<停留所に関すること>

ラストワンマイルがネックになってくると思うのでなるべく家の近くまでデマンド交通が来ると良い。バスについては、運転手と予算の確保が年々難しくなっていくと思うので、あいあいバスとスクールバスの統合など効率化を図る必要がある。

アヤハディオやスーパーさとうまでの便があると良いと思う。現在は自分で運転できるが数年後はデマンド交通をぜひ利用したい。地元の病院、県内の病院、スーパーの買い物、市役所、その他の用事のため、月に5~6回必ず市街地に出たいので、ぜひ今後この交通を利用させていただきたく思います。

時間を決めずに1時間ごとにバスで回ってきてほしい。どこのバス停でも乗れるようにしてほしい

自宅近くで乗り降りできるようにしてほしい。

利用した方の意見で、運行ルート上での下車が自由になると良い。夜・土日の利用ができるが良い。料金は今のあいあいバスと同じ料金が良い

予約が自分の行きたい場所まで利用できたら良い

東山手団地とかバローとか買い物した後、駅まで歩かなくて良いので助かります。しまむらのところまでバス停を作ってほしい。雪の中病院に通院するのに危なくないので助かります。土曜日にも運行してほしいです。平日毎日じゃなくても良いから。

もっと停留所を追加してほしい

あいあいバスの利用は、自宅から停留所までが遠いので利用しにくい

あいあいバスの停留所とデマンド交通の仏谷の停留所が同じ停留所になると良い

雨や雪の時などを考えると家のそばまで来てもらえると嬉しい。バス停にベンチ、屋根などがほしい。

若狭町で実施していたと聞いた。自宅まで来てくれて希望するところまで行ってくれ、300円~500円というのはとても良いと思う。足が悪く高齢で歩くのが大変。利用するには離れた停留所までいけない。今のようなら、家に帰るとき、停留所からタクシーとして切り替えてもらえたら助かり有効と思う。どうして遠敷地区や他は対象にならなかったのですか。

停留所にベンチがあると良い。予約時間を30分前にしてほしい

デマンド表示が小さくわかりにくい。今後も運行してほしい

<予約方法に関すること>

<p>いずれ運転が出来なくなる時が来ますが、デマンド交通など行きも帰りも電話をしなればいけないと年寄りには面倒なため、あいあいバスを続けてほしいと思います。</p>
<p>高齢になってから電話連絡は無理じゃないかと思う。家族にあまり頼れないから、いずれ利用したいと思うが、予約が面倒だと思う。何か良い方法があると良い。</p>
<p>今回のWEB利用の申込は便利です。今後タクシーでひとりはもったいないので、マイクロバス等で循環型となり市内全域で利用できればと思う。 今、バスがどの辺にいるのかネットで検索できると利用しやすい。 免許も車も持っていましたが、突然の病気で運転困難になりました。ちょうどこの実験が通院に役立ち感謝です。車がなくても生活に支障のない町を望みます。</p>
<p>スマホを持っていないので復路の時間指定ができない。買い物にどのくらいの時間がかかるか分からない、また公衆電話がある場所は小浜病院か駅しか思い当たらない。もし乗客が自分一人だけの場合、運賃が200～250円程度では悪い気がする。</p>

<車両・ドライバーに関すること>

<p>あいあいバスは誰も乗車していないときもあるので、もう少し利用する人があればいいと思います。もう少し小さい車でいいのではと思います。</p>
<p>デマンドは2台で運行しているようですが、利便性を高めるため増便を希望</p>
<p>ドライバーさんは親切で良かったです</p>
<p>あいあいバスより大変便利が良い。大きい施設に停まってほしい。現在のあいあいバスの時刻表は見にくく回数も少なく利用していません。今回のタクシー車両はとても暖かく、運転手さんも大変良かった。予約センターの人の受け取りも大変良かったし、良く分かるように話してくださいました。</p>
<p>ドライバーさんが優しく話しかけてくれました</p>

<料金に関すること>

<p>デマンド交通有料化になってもあいあいバスとタクシー料金の間くらいであれば将来的には利用回数は増える。免許返納者が増えてくればデマンド交通方式が見直されると思います。市の財政、タクシー会社、利用者が一番良くなる妥協点を考えてほしい</p>
<p>料金は安ければ安い方が良いでしょうがそんなわけにはいかないでしょう。</p>
<p>タクシー料金の半額くらいで運行出来たらしてほしい。タクシーだと私の場合小浜病院まで1500円かかりますので半額くらいで。あいあいバス運行の時間、運行本数が少ないので、どうしてもタクシーに頼るしかないのでデマンド交通の運行を続けてほしい</p>

デマンド交通に高齢者割引があると良い
あいあいバスは子どもたちには必要です。市の財政が無理ならば、デマンド交通を有料にしてあいあいバスの料金も少しくらい高くなって構いません。
西津橋大手橋が出来るまで値引きをしてほしいです。 ドライバーの方がとても良くしてくださいました。
老人の年金生活者にとって、安い料金で運行してほしい
デマンドはとても便利で助かりました。料金が気になります。できるだけ安くしてください。

<継続希望に関すること>

これからも運行してほしいです。
大変便利が良い。1月からしてほしい。料金はあいあいバス 100 円であれば、その2倍3倍でも値打ちがあります
スーパーの買い物、市役所、病院へ行きたいため、ぜひデマンド交通のようなバスを運行してほしいです。今は自分で運転していますが、数年後にはバスがないと本当に困ります。アヤハディオやスーパーさとうまでの便があると良い
運転免許を返納した場合の交通手段として必要になると思うのでこの実験を続けてほしいです。
運行が始まってすぐに申込したかったです。ずっとタクシーを利用して買い物に出かけていました。この案は大賛成です。継続してもらえますようにお願いします。
ドライバーさん、予約センターの方の対応は親切で対応が良かったです。
車のない人にしたら有難かったです。デマンド交通を続けてほしいです
今後有料でも今回の方式での運行を希望します。国道の停留場に行くのが遠いし車が多く、不安と危険を感じます。よろしくお願いします。
デマンド交通はこれからも継続するべき。年寄りや車の無い人には助かる。あいあいバスはもう少し時間を増やしてほしい。例えば8時の枠10時の枠とかも。

<利用しなかった・できなかった理由に関すること>

デマンドの事を聞いた時は素晴らしいと思ったが、いざ予約をしようと電話をかけてみると空きがなくてダメでした。年齢を考えるとデマンドをやってほしいと思います。地理的に無理かな？
乳児がいるので利用したいと登録したが、近くの停留所まで歩くのが面倒で結局自家用車を使った。予約するもの面倒になってしまい利用するメリットが思いつかなくなった。
病院の通院にと考えたのですが、予約時間等を考えたところ、到着時間から逆算等を考え出したらく分からなくなり、躊躇してしまいました。バスだと到着時刻がはっきりしていて良いのですが。

<あいあいバスに関すること>

夕方 4:30~5:00 の時間で西津→小浜駅方面のバスを運行してほしい
高齢者は通院があるのであいあいバスの運行をもう少し増やしてほしい。デマンド交通は運賃を払ってでも続けてほしい
デマンドよりもあいあいバスの運行本数が多くある方が良い
内外海はあいあいバスは通学用として運用されているので運行回数も多く運転免許証を返納したらあいあいバスを利用しようと思っている。その節はよろしくお願ひします。
遠方のものほど公共交通の足は必要なのであいあいバスは最低一日三往復は継続してほしい。デマンド交通はもう少し目的地まで時間短縮できると使いやすい (普通の倍以上かかる)
あいあいバスの時間は 30 分くらいで回ってほしい
あいあいバスは便利です。西津→小浜駅を午前中にもう 1 便増やしてほしいです
小部落ですが、今は週に 2 回あいあいバスの運行があります。あいあいバスはできれば帰りのバス運行を昼前にしていただきたい。午後過ぎの帰りの時間では、長くてしかたありません。できれば 2 回目最後のバスの方をお願いします。金銭のある人はデマンド交通にお願いできますが、我々には夢の交通です。
あいあいバスの時刻表に疑問を感じています。JR に乗り継ぎできる時間があまりありませんし、一度買い物に出ても、帰りのバスの時間までかなり開いていて時間のつぶしようがなく困ります

<その他>

これから高齢化がどんどん進んでいきます。車を運転できる家族がない人がたくさんいます。今以上に公共交通手段が必要となります。今よりももっと便利になりますようにお願いします。私の地区 (内外海) は特に不便です。11:55 のあとは 14:45 までバスがなく不便です。今回のデマンド実証実験は 13:00~14:00 前後で利用させていただきました。
若い人でも車が運転できなくなった時どうするか自分に置き換えて考えてみてください。大変不便です。4~5 日車なしで生活してみてください。大変さを実感します。
あいあいバスをショッピングセンター前を通るルートにしてほしい。地元のスーパーで買い物貢献できて、雨宿りもできる、メリットがある。買い物をしてたくさん歩かなくてもバスに乗れるし助かる。橋 (大手橋・西津橋) ができるまでも良い。デマンドも時間を固定化して、バスを少なくし本数を増やしてほしい。中間の時間がない。
88 歳です。私がデマンド交通利用者の年配でしょうか?
平日のみで誰を対象としているのか分からない。夜も運行していただきたい。ますます電車 (小浜線) 利用が減り、廃線となる
歩行困難なためバスに乗車は無理

<p>今のところ娘が近くにいるから送迎を頼んでいる。冬に雪が降るようになって娘がいない時はお願いするかも。</p>
<p>デマンド交通の運行は非常に有意義なシステムであると思います。転居して間もないのですが、そのうちに利用をさせていただきます。</p>
<p>あいあいバスは、朝と夕方は便数が多いですが、昼間は2時間3時間くらい空くので利用できない。タクシーは良いのですが、バスは片道100円、タクシーは1,000円以上しますが、毎日ではないので利用していました。娘の家族が近くにいるので、買い物は一緒に行くようにしています。</p>
<p>申し込んでいながら利用できなかったのは残念です。車が無い時もあるので、次年度は利用したいと思います。良い企画ですので継続していただきたいと思います。住宅地に停留所があるのは良いですね。</p>
<p>利用申請した時は一回くらい利用するかなと思っていましたが、結局利用しませんでした。自分で運転できるので不便はなかったのかな。数人で移動することがあれば利用するかも。</p>
<p>便利だという声をききます。70歳を超えれば利用すると思います</p>
<p>病院へ行くのに便利で良いと思います。</p>
<p>デマンド交通も運賃を支払ってもいいし申込しなくていいようにしてほしい。日中の時刻表もあると嬉しい</p>
<p>通院や買物を目的とするだけでなく、出かけて楽しむ（お茶会、ランチ、イベント参加など）を目的にも取り入れ、家にこもりがちな高齢者や障がい者が外出する機会が増えると良いと思う。最初は手続きが難しそうに感じたが、スマホを利用して予約することも簡単にできたので、活用するのは便利だと思う。</p>
<p>乗られた方のお話を聞きますと「思ったより不便だった」の声が多いですね。市の関係者の方の一生懸命な説明本当にご苦労様でした。今はピンときませんが、いずれお世話になることが多いと思います。その節はよろしくお願いします。ありがとうございました。</p>
<p>デマンド交通を利用するようになったら、アヤハディオで畑の肥料を買ったら乗せてもらえるのでしょうか</p>
<p>現在は車を運転しているけれど返納した場合は利用したいと思う</p>
<p>今のところ、体健康なのですが、いずれ免許返納の際にはお世話になります。</p>
<p>めまいがする時（自分で運転不可）に利用したい</p>
<p>色々考えていただきありがとうございます。時間、運賃等色々問題は山積みだと思いますが、見ていると歩くのもやっとなのに車の運転をしておられる方が多いので、もっと利用しやすいものにしていただきたいです。</p>
<p>今のところ主人に運転してもらっていますが主人も80歳を超えていますので、今後デマンド交通があった方がよく、今後は利用したいと思っています。足が痛いのであいあいバスの停留所まで行けず、今のデマンドの停留所だと近いので嬉しいです。</p>

<p>最初、高浜町の様子を見て、小浜市もあのようにしてほしいなど思っていた時に他よりをいただきうれしかったです。今後も続けていただけることを願います。</p>
<p>雨や雪の日に利用しようと思って登録しましたが、そんなに悪天候もなく、自転車で十分間に合い利用しそびれた。</p>
<p>行動範囲が広がるから楽しもうとしたけど機会が持てず利用できなくて残念でした。制度が実現することを希望します。活用したいと思います。</p>
<p>今は病院通いも歩いて行きますが、この先お世話になれると嬉しい。</p>
<p>年齢的にもしづらくは自家用車を利用できるが、数年後にはわからない。利用補法が単純であればできるだけ利用したい。利用方法がインターネットで動画などで確認できるとありがたい。</p>
<p>上中診療所が主治医のため、2回のみ利用になった。デマンド専用車でなくても、証明書を持っていれば好きな時間にタクシーを呼ぶことが出来れば助かります。上中回りの便もあると有難いです</p>
<p>80歳を超えているので返納する都市になっていますが、クルマがないと生活に不自由があります。ぜひ細かい時間帯でお願いします。今でも腰が痛くていつ運転できないか心配です。</p>
<p>主人が80歳を超えて運転がだんだん出来ません。今回は利用しませんでした。私はデマンド交通を利用し通院したいと思いますのでお願いします。</p>
<p>自宅から乗れないので、冬の寒い時や雪・雨の時は利用しにくい</p>
<p>東小浜近辺の医院や書店、県立図書館などへの自転車で自由に62歳まででかけていたが、事故に遭って以降全身打撲の後遺症で自転車は不可、歩行困難に。経済的にタクシーは使えず、知人も高齢化し送迎を頼める人がいなくなって、首から腰・脊髄・膝・強い頭痛とめまいで通院も4か月に一度がやっとという状況でした。デマンド交通の停留所ができて、歩行が1/4程度ですみ、なんとか頑張ってみる思いがけないチャンスと急激にやりすぎて、現在ダウン中で残念ですがとても元気が出ました。デマンド交通の企画案内をいただいたときは、もういよいよ外へ出て歩くことはかなわないかと諦めの心境に落ちていた時で、突然の想定外の朗報で、パッとドアが開いて明るい光が差し込んだように心躍りました。このような少数弱者への取組み発案・実施へ向けて始動して下さった小浜市当局やタクシー会社スタッフの皆さまに感謝です。高齢者が生きる上では、できなくなることばかりが増えて、周りの人たちに迷惑になり負担をかけてはと小さく縮こまっていくのではなく、小さな町だからこそみんなが生き生きできる、一人ひとりに目と手の届く、どんな暮らし方をしたいかを大切に、支え合う一歩として大きな力になると期待します。</p>
<p>今年はデマンド交通利用1回、定期検診とりハビリ90回、あいあいバス42回、タクシー223台で年間66万円也</p>

3-3) ドライバー・予約センター聞き取り結果

対象：あいあいバス運行協会（三福タクシー(株)）

＜予約センター（オペレーター）への調査＞

① オペレーション体制

- ・ 主に2名が対応、総勢6名

② システムの使いやすさについて

- ・ 操作は簡単であったが、予約変更の作業がもう少し簡単に出来ると良い

③ オペレーション業務でトラブル等発生したか

- ・ おおむね円滑に対応できた。
- ・ コールセンターの受付が9時開始だったため、9時になると一斉に電話がなる。今回、三福タクシー(株)の代表電話で受付をしたが、もし本格運用するのであれば専用電話番号が必要だと思う。
- ・ 予約を受けるだけでなく、利用者にデマンド交通の説明をするのに時間がかかった。また、世間話で長電話になる利用者も複数いて、一件の予約をとるのに非常に時間がかかった。
- ・ 希望の予約が受けられない場合は、時間を変えるなど条件を変更してシステム検索をして、予約が成立するよう工夫した。
- ・ 予約した時間を何度も電話で確認する利用者が複数いた
- ・ デマンド交通の一言がなく、普通のタクシーが行ったことが何度かあった

④ 利用者から寄せられた意見等

- ・ 土日を含めて、終日受付してほしい
- ・ 停留所を増やしてほしい
- ・ 電話したらすぐに来てほしい

⑤ その他

- ・ 内外海の人などで、普段は自家用車利用であったが、「燃料代が助かる」「駐車料金もかからない」の理由で利用する人がいた
- ・ あいあいバスの直前または直後を走行する無駄が多かった
- ・ 「利用してやっている」という意識が強い利用者が複数いた
- ・ タクシー客がデマンド交通を利用して売上が下がった。

<ドライバーへの調査>

①運行体制

- ・ 2台5名で運行。基本的に運行時間中はドライバー変更なし

②システム（車載器のタブレット）の使いやすさについて

- ・ 単純で使いやすかった

③運行業務でトラブル等発生したか

- ・ 利用者が予約時間を間違えているにも関わらず、「来るのが遅い」と怒られたことがあった。
- ・ 執拗に「家まで送ってほしい」と言われたことが何度もあった

④停留所について、安全運行上危険を感じる停留所はなかったか

- ・ 危険ではないが、スーパー等の停留所で乗降に時間のかかる利用者は長時間停車になるため、交通の妨げになると思った（特にバロー）

⑤利用者から寄せられた意見

- ・ 地域限定ではなく、タクシー無料券や割引券を出してほしい
- ・ デマンド交通を続けてほしい
- ・ 各医院もバス停に加えてほしい
- ・ 「有料だったら利用しない」が多かったが、「100円くらいなら利用する」といった声もあった

⑥その他

- ・ あいあいバスの利用者が多かった。
- ・ あいあいバスは有料なのでデマンド交通を利用する乗客がかなりいた
- ・ 特定の利用者に偏っていた

3-4) 交通事業者意見交換 (実施日: 2/15、2/17)

三福タクシー(株)、大和交通(株)

〈朝・夕にバスを運行し、日中にデマンド交通を運行する場合の懸念事項〉

- ・ バスにのみ乗務して、タクシーの乗務はしないという運転手が1割～3割いる(事業者により異なる)。「バスの乗務」という条件で勤務しており、タクシーに乗務するように強制はできない。
- ・ 朝・夕のバスを運転する人と日中のデマンドを運転する人が別になれば、人件費が追加で必要になる。
- ・ コールセンターの費用が発生する。

〈タクシー等他の交通事業への影響〉

- ・ 今回のデマンド交通実証実験中にタクシー客がデマンド利用をしており、売り上げは減ったと考えている。ただし、タクシーの売上については、企業の利用頻度によって毎月変動があり、コロナ禍の影響もあるので、一概に実証実験の影響とは言えない。
- ・ 仮にデマンド交通や市街地循環バスでタクシーの利用が少なくなれば、タクシー事業が成り立たなくなる不安がある。約3年前にタクシーの24時間営業をやめて、現在は、深夜12時～2時までの運行としているが、今後もっと需要が少なくなれば、夜の営業時間短縮も考えなくてはならなくなる。(営業時間短縮となった場合には、観光客の足、飲酒時などの移動手段が制約されることにもなる)

4. まとめ・考察

① 利用者数

- ・ 実証運行期間の実利用者数は96人で、運行件数は630件、乗車人数は延べ750人で、1日平均乗車人数は13.1人であった。
- ・ 運行件数630件のうち、21回以上利用したヘビーユーザーが7人おり、その運行が計233件・37%を占めた。11回以上利用したユーザーは18人で、その運行は計396件・63%を占めた。
- ・ 一方、利用回数が1, 2回に留まった人が45人いて、その理由は「他の移動手段を利用した」「外出する用事がなかった」が多く、デマンド交通以外の移動手段がある場合や外出する用事自体がないことが分かった。
- ・ アンケート結果からは、今回の実証実験では、あいあいバス未経験者にも利用されていることが分かり、新たな需要があったと考えられる。

② 乗合率

- ・ 実証運行期間の平均乗合率は1.19人であり、複数人の乗合となることが少なく、ほとんど貸切状態での利用となった。乗合率が低い理由としては、同じ時間帯に同じ目的地方面への需要が少ないことや、1件の予約あたりの運行時間が短く、寄り道するための時間が短いことで乗合になる候補が発生しにくいこと等が考えられる。デマンド交通の運行効率を高めことが課題として挙げられる。

③ 収支率（一人あたりの輸送コスト試算）

- ・ 実証運行の一人あたりの輸送コストは7,651円であり、あいあいバス田烏線、泊線、宇久西小川線の運行経費における一人当たりの輸送コストよりも高かった。
- ・ 交通事業者の聞き取り結果から、朝夕のバス運行+日中のデマンド運行には、人件費やシステム利用料等が増大することから、一人当たりの輸送コストはさらに高くなると考える。

	運行経費 ①	乗車人数②	一人あたりの輸送コスト ①÷②
デマンド交通実証実験（3か月間）	5,738,463 円 （※1）	750 人	7,651 円
あいあいバス（田烏線、泊線、宇久西小川線の令和3年度実績）	32,456,808 円 （※2）	23,580 人	1,376 円
〔仮定〕 あいあいバス 田烏線、泊線、宇久西小川線 日中（9時～15時）の運行コスト	16,228,404 円 （※3）	4,683 人 （※3）	3,465 円

※1) 運行委託料、予約センター委託料、システム利用料

※2) 修繕費、車両リース代などのその他経費を除く

※3) 運行経費は1/2と仮定、乗車人数は令和3年度乗降調査結果から、田烏・泊線の利用者数を「15人/日中利用者数×年間平日244日=4,392人」、宇久西小川線を「3人/日中利用者数×年間運行日(月曜・水曜)97日=291人」で合計4,683人として仮定を算出した

④利便性向上

- ・ (乗降場の場所) 実証運行期間中に利用された乗降場の結果から、居住地近くに追加した乗降場が多く利用されており、利便性の向上がみられる。
- ・ (利用できた時間) 実証運行期間中の予約実績より、89%が希望時間の20分以内に予約がとれ概ね希望時間に乗車でき、利便性の向上がみられる。
乗降場や利用時間については、現在のコミュニティバスよりも利便性が向上したと考えられる。
- ・ 一方アンケート結果からは、運行日時についての評価が低く、運行時間の拡大に関する改善意見が多かった。また、自由記述からは、自宅近く～目的地までの運行(ドア to ドア)を希望する意見も多かった。

⑤持続可能性・⑥他交通事業への影響

- ・ デマンド交通を導入する場合、人件費やシステム利用料等のコストの増加が見込まれることから、持続可能な交通体系の整備には、利用者の確保や適切な運賃設定等による運賃収入の確保が必要である。
- ・ また、交通事業者の聞き取り結果等から、利便性向上のためにデマンド交通の自由度が増せば増すほど(車両数の確保、運行時間を拡大することなど)、通常のタクシー事業とのすみ分け・タクシー事業の維持が難しくなることが予想されることから、慎重に検討する必要がある。

以上より、コミュニティバスの運行形態見直し手段としての、デマンド交通の導入可否については、利便性向上と持続可能性、交通事業者への影響など総合的な検証が必要なことから、令和5年度に、福井大学と連携し、交通事業者・市・大学の産官学において、検討を進め、コミバス再編に向けた合意形成を図りたい。